

(別紙様式 1)

令和 4 年 2 月 1 0 日

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 福井県福井市大手 3 丁目 1 7 番 1 号
管理機関 福井県
代表者名 知事 杉本 達治

1 管理機関

①管理機関 (市区町村・都道府県)

ふりがな	さかいし そうごうせいさくぶ
管理機関名	坂井市 総合政策部
代表者職名	次長
代表者職名	三上 寛司

ふりがな	あわらし そうごうせんりゃくぶ せいさくこうほうか
管理機関名	あわらし 創造戦略部 政策広報課
代表者職名	課長
代表者氏名	江川 嘉康

②管理機関 (産業界) ※2 団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	かぶしきかいしゃ ふくいぎんこう さかいちょうしてん
管理機関名	株式会社 福井銀行 坂井町支店
代表者職名	支店長
代表者氏名	竹島 久敬

③管理機関 (学校設置者)

ふりがな	ふくいけん
管理機関名	福井県
代表者職名	知事
代表者職名	杉本 達治

2 指定校名

学校名 福井県立 坂井高等学校
学校長名 内藤 俊治

3 事業名

学科横断型 D X 研究による次世代産業人材育成体制の構築

4 事業概要

産官学が一体となって、次世代地域産業人材の育成体制を構築する。デジタルデータを活用した産業社会の急速な変革を見据え、地域の企業をよりよく知るために、1・2年生徒に企業訪問・出前授業を行い、「ふくいの産業」の学校設定教科を軸としたカリキュラム開発を進める。観光およびデザインの高度な専門知識を有する産業実務家教員による授業や企業研修を通じて、「ふくいの産業」の現状、課題、展望を学年進行で学び、自分たちの学校での学びで地域にどのようにつながれるか、そして貢献できるかを考える。企業が抱える課題を主体的に考え、地域貢献を視野に入れた課題研究へと発展させる。また、企業の最先端の施設設備での研修や実習の機会を設け、生徒自らが新しいアイデアを発見できる体験を充実させる。

学科を横断した企業研修も行き、協働型の探究活動を推進し、起業家精神の育成も図っていく。また、企業、自治体、大学等の連携を強化し、生徒が地元に着定するしくみを構築する。卒業生が社会での学びを学校に環流させる双方向の連携システムの構築にも取り組む。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- 学校設定教科・科目を開設している
 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～ 令和5年3月31日

7 令和4年度の実施計画

- ・1年生に学校設定教科「ふくいの産業」を1単位導入し、その中で産業実務家教員の授業、「ふくいの産業」についてのビデオ視聴、調べ学習、ディスカッション、発表等を行う。
- ・1、2年生対象に企業等の施設や設備の見学の、企業訪問研修を実施する。
- ・2年生対象には大規模最先端技術を有するグローバル研修を行う。
- ・1年生対象に企業の先端活動について学ぶ出前講義を、学科横断的に実施する。
- ・2年生において新たな学校設定科目の1単位導入に向けた試行を実施する。
- ・産官学の関係者を巻き込んだ、この事業の持続可能性を探る。
- ・地元の産業界や中学生を招いた、企画研究・課題研究発表会を実施する。

<添付資料>

- ・ 令和4年度教育課程表

8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

氏名	所属・職
竹島 久敬	福井銀行坂井町支店 支店長
三上 寛司	坂井市総合政策部 次長
江川 嘉康	あわら市創造戦略部政策広報課 課長
山崎 良成	福井県教育委員会 副部長（高校教育）
半澤 政丈	坂井市商工会 会長
赤尾 政治	あわら市商工会 会長
大久保 貢	福井大学 地域創生推進本部 教授
森川 峰幸	福井県立大学 創造農学科 教授
内藤 俊治	坂井高等学校 校長

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
三村 友男	前田工織株式会社 監査役
市橋 憲	株式会社福井銀行坂井町支店 支店長代理
斉藤 立海	坂井市総合政策部企画政策課 課長補佐
藤田 由紀	あわら市創造戦略部政策広報課 参事
浅原 雅浩	福井大学 教育学部 教授
中村 幸弘	県立大学 経営企画部 連携・研究課 課長
江川 誠一	福井大学 国際地域学部 非常勤講師
橋本 洋子	パレットデザイン代表 仁愛女子短期大学 講師
大正 公丹子	福井県教育庁高校教育課 参事
内藤 俊治	坂井高等学校 校長
島田 克久	坂井高等学校 教頭

9 課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域の絶滅危惧種の保全活動でSDGs活動	エチゼンダイモンジソウ、アゼオトギリに対する保全活動でSDGs活動、勉強会、発表会の実施											
ふるさと納税返礼品の開発と拡充	ふるさと返礼品（梨等）の育成管理						ふるさと納税返礼品の開発と拡充			ふるさと返礼品（梨等）の育成管理		
	新商品の開発・検討											
安心・安全な地域の特産品開発	フリーズドライ装置等を活用した商品開発、地域と連携した商品開発											
	より安心・安全な農産加工品を提供するための、コース間連携や実践的衛生管理手法の活用											
	コース間連携による、外部に向けた賞味期限が長く魅力的な商品の開発・販売											
機械コースの学びを地域に還元	焼き印製作で学んだ「知識」や「技術」を生かし、寄贈することによって地域に貢献する。											
ドローン技能認定制度	知識確認テスト及び飛行能力確認シートを作成し、審査要領をクリアした認定講習受講者に対し、本校独自の技能認定を行っていきたい											
温泉熱エネルギーの活用 ～温泉熱を有効利用したSDGsに基づく持続可能な街づくりの一助～	あわら温泉「芦湯」の未利用温泉熱を活用し「ヒートポンプ」や「ペルチエ素子」を用いた温泉熱エネルギーの有効活用方法の模索											
	他コースとの連携による、 ・未利用温泉熱を活用した農作物の効率的な栽培 ・温度管理を活用した魅力的な加工食品開発											
地元企業と連携によるシステム開発	初年度構築した地元企業と連携による坂井市役所職員の意思疎通や情報共有を円滑に行えるようにしたシステムの所内移設と調査											

業務項目	実施期間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光資源の発信	地域観光資源の発掘・フィールドワーク					観光資源PRのコマーシャル作成			コマーシャル発信			
ECサイト運営	お中元商談会 ふるさと納税返礼品 品評会参加				キックオフ 予約受付 商品発送	サイト 更新	ECサイト 運営		お中元商談会 ふるさと納税返 礼品品評会参加			
卒業制作発表会 ファッションショー	型紙指導・衣装製作						ウォーキング講習		発表会			
Sea級グルメ全国 大会に向けての坂 井市との連携活動	坂井市との打ち 合わせ		ワークショップ、フィール ドワーク、レシピ検討				全国 大会	今後に向けた検討				

※生徒活動概念図の「葉の部分」に相当

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

- (○) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
 () 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ 無

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者 ・ 免税事業者 (□で囲むこと)